

銀師（しろがねし）

東京都指定伝統工芸「東京銀器」職人

上川 宗光（かみかわ・そうこう）



■ 基本情報：

生年月日：1977 年生まれ

出身：東京都台東区

所属：有限会社日仲貴金属

＜この件に関するマスコミ、素材・データなどの問い合わせ＞

株式会社 e-moer 広報担当：富永

TEL：090-2664-2785 mail：tomygerero@gmail.com

1977 年、東京都台東区生まれ。銀職人一家に育ち、4 人兄弟すべてが銀師という環境の中で、幼い頃から「ものづくり」への関心を育む。高校卒業後、父である二代目・上川宗照に師事し、「鍛金」など銀器制作の技法を基礎から習得。以来 30 年以上にわたり、銀という素材と真摯に向き合ってきた。

趣味はサーフィン、ゴルフ、そしてボクシングのコーチ。自然の中で過ごす時間からアイデアやインスピレーションを得て創作に活かしている。銀に触れる時間を「友人のような存在」と語り、素材との対話から生まれる“ものづくり”の表現を追求している。

■ 新しい感性を持つ若手クリエイターとともに

2020 年頃、ジュエリーデザイナー・渡邊成氏、学生起業家・金本晃司朗氏と出会い、「伝統工芸を未来につなげ、世界に発信する」ことを掲げたコラボレーションが始動。

2025 年 6 月より、e-moer のアクセサリーブランド「JOEKR」とともに、代官山のオーダースーツ専門店「DAVID LAYER」初のオリジナルカフスを制作。銀師として“ビジネスシーンに宿る銀器”を初めて手がけ、伝統的な燻し加工や壁紙モチーフを取り入れたデザインが話題に。さらに海外や若者に人気の「シーシャ」のマウスピースを企画・製作するなど、従来の銀器の枠を超えた創作に取り組む。



また、グローバルブランド「MAQUINN（マックイーン）」のコレクションにも職人として参加。パリ・中東・中国など海外展開を視野に入れたアクセサリーデザインを手がけ、東京銀器の技術を国際舞台で表現する試みにも貢献している。

＜この件に関するマスコミ、素材・データなどの問い合わせ＞

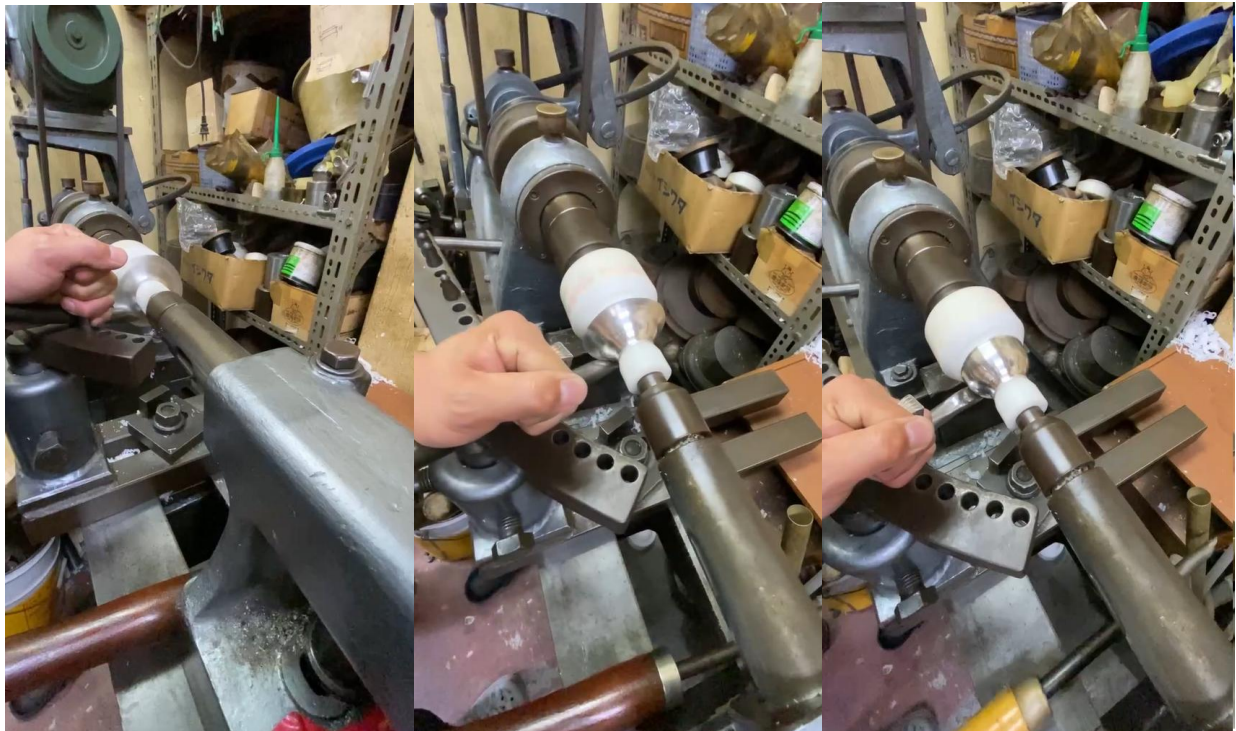
株式会社 e-moer 広報担当：富永

TEL：090-2664-2785 mail：tomygerero@gmail.com

■ 金属アレルギー体質から生まれた創作と評価

上川氏自身が金属アレルギー体質であることから、素材選びや制作工程に独自の配慮を重ねてきた。2021年には、純銀製バングル「break the mold」により、EQBC2021（一般社団法人金属アレルギー協会主催）造形部門でグランプリを受賞。素材の純度や肌へのやさしさを重視しつつ、造形美とコンセプトを兼ね備えた作品として高く評価された。

■ 「守り、つなぐ」伝統技術を未来に残すために



へら絞りができる銀師は国内で一握り

上川氏が得意とするのは、金属を回転させながらへらで押し当てて立体成形する「へら絞り」と呼ばれる伝統技法。現在では、この技術を扱える職人は国内でもごくわずかとなっており、継承の危機に直面している。日々の制作を通じて技術の再現性や応用力を探りながら、次世代の職人育成にも尽力。今後はこの「へら絞り」の技術をアクセサリー分野にも展開し、若手クリエイターとの協業によって、新たなかたちで社会とつながる工芸の可能性を広げていきたいと考えている。

以上

<この件に関するマスコミ、素材・データなどの問い合わせ>

株式会社 e-moer 広報担当：富永

TEL：090-2664-2785 mail：tomygerero@gmail.com